

STT60-01

会場:211

時間:4月30日 14:15-14:24

ハイパフォーマンスコンピューティングが拓く固体地球科学の未来：導入 Creating future of solid Earth science with high performance computing (HPC): Introduction

堀 高峰^{1*}; 日野 亮太²; 本蔵 義守³; 金田 義行¹; 有川 太郎⁴; 市村 強⁵; 等々力 賢⁵
HORI, Takane^{1*}; HINO, Ryota²; HONKURA, Yoshimori³; KANEDA, Yoshiyuki¹; ARIKAWA, Taro⁴; ICHIMURA,
Tsuyoshi⁵; TODORIKI, Masaru⁵

¹ 海洋研究開発機構, ² 東北大学, ³ 東京工業大学, ⁴ 港湾空港技術研究所, ⁵ 東京大学

¹JAMSTEC, ²Tohoku University, ³Tokyo Institute of Technology, ⁴Port and Airport Research Institute, ⁵University of Tokyo

日本におけるハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) は、従来ハードウェア主体で計画が進められてきたが、次世代 HPC 開発では、今後 10~20 年程度の期間で解決すべき社会的・科学的課題への貢献に主眼をおいた議論が、関連各分野で進められてきた。平成 26 年度からは概念設計が始まるため、ますますこうした議論が重要になっている。本セッションは、固体地球科学分野において、これまで議論されてきた HPC の活用が貢献するであろう社会的・科学的課題や課題解決に向けた方向性を共有し、議論を深めることを目的としている。この導入では、将来の HPCI システムのあり方調査研究で平成 25 年度一杯でまとめられた「計算科学ロードマップ白書」を、講演予定の内容とのつながりを含めて紹介し、議論の出発点とする。

キーワード: HPC, 防災・減災

Keywords: HPC, hazard mitigation